入選

笑顔が広がる町

第二学年　小花和　卯月

わたしは冬休み、金沢にりょこうにいきました。

三人で町をあるいていると「がんばろう、石川！」と、大きく書いてあるかんばんを見つけました。わたしは、「どうして、がんばろう！なの？」と、お母さんにききました。お母さんは、「このまえ、石川でじしんがあったんだよ。」と、教えてくれました。

じしんがおこると、家がこわれたり、ぐちゃぐちゃになったりします。そうすると、町の笑顔も少なくなってしまいます。

でも、わたしの町は、笑顔がいっぱいです。

笑顔がいっぱいある町の人が、笑顔が少なくなってしまった町の人たちをてつだったり、たすけてあげたりしたら、笑顔が少しでもふえるはず。しあわせになるはず。笑顔がたくさんある町が一つでもふえるように。

。

20 × 20